

「第45期はなやまボランティアスクール兼 自然体験活動指導者（NEAL）リーダー研修会」報告書

1. 趣旨

国立青少年教育振興機構が定める「法人ボランティア養成カリキュラム」に基づき、ボランティア活動に必要な理論と技術についての実践的な研修を行い、ボランティア活動に積極的に取り組む意欲を高める。

2. 事業の概要

(1) 期日 令和6年5月18日（土）～5月19日（日）【1泊2日】

(2) 参加者

①参加対象 ボランティア活動に興味関心を持つ方（一般の方・学生・高校生） 50名程度

②参加人数 27名

| | | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 男性 | 8名 | 6名 | 0名 | 0名 | 1名 | 1名 | 0名 |
| 女性 | 19名 | 12名 | 7名 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 |

【参加者の所属先】

- ・一関工業高等専門学校 ・一迫商業高等学校 ・屋久島おおぞら高等学校 仙台キャンパス
- ・古川工業高等学校 ・古川黎明高等学校 ・古川高等学校 ・東北労災看護専門学校
- ・仙台子ども専門学校 ・宮城学院女子大学 ・宮城大学 ・尚絅学院大学
- ・仙台白百合女子大学 ・東北福祉大学 ・東北学院大学 ・西山学院高等学校
- ・株式会社ボディプラスインターナショナル

3. 企画運営のポイント

- 実際の場면을想定したケーススタディなど話し合い活動を多く取り入れた演習を行った。
- 先輩ボランティアと事前にオンラインミーティングを行うことで、当日の細案読み合わせ時間の短縮やボランティアが担当するコマの打ち合わせを行った。
- 安全管理の講義・演習では、赤十字社宮城県支部による心肺蘇生法の演習を行うだけではなく、KYTを用いて野外を想定した講義を取り入れることにより安全への意識を高めた。

4. 日程 「法人ボランティア養成カリキュラム」科目名で記載

| | 5月18日（土） | 5月19日（日） |
|----|---|---|
| 午前 | <開講式> 9:30 <講義> 9:50～10:50 「青少年教育施設の現状と運営」 [講師] 国立花山青少年自然の家 所長 <説明> 11:00～12:00 「青少年教育施設におけるボランティア活動」 [担当] 国立花山青少年自然の家 職員 | <講義・演習> 9:00～10:30 「青少年教育」 [講師] 宮城県生涯学習課社会教育専門監 青山 修司 氏 <講義・演習> 10:30～14:30 「ボランティア活動の技術」(野外炊事) [担当] 国立花山青少年自然の家 職員 |
| 午後 | <講義・演習> 13:00～17:00 「安全管理」 [講師] 赤十字社宮城県支部 指導員 [担当] 国立花山青少年自然の家 職員 | <説明Ⅱ> 14:30～15:30 「登録制度について」 [担当] 国立花山青少年自然の家 職員 <閉講式> 16:00 「修了証授与」 |
| 夜 | <講義Ⅲ> 18:30～20:00 「ボランティア活動の意義」 [担当] 国立花山青少年自然の家 職員 先輩ボランティア | / |

5. 主な活動内容

① 講義「青少年教育施設の現状と運営」



② 講義・演習 「青少年教育施設におけるボランティア活動」



③ 講義・演習「安全管理」



④ 講義「ボランティア活動の意義」



⑤ 講義 「青少年教育」



⑥ 講義・演習 「ボランティア活動の技術」



6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足：96.0% やや満足：4.0% やや不満：0.0% 不満：0.0%

(2) 参加者の声

- ・自分ひとりの視点では得られない気遣いや考えに触れることができました。
- ・先輩方の話し方や、教育への向き合い方がとても素敵でした。
- ・子ども達を支えるにはどのように接していけばいいのか改めて考えさせられました。

(3) 成果

- ・幅広い年齢層が集まり、話し合い活動や共同作業を行うことで活発な意見交換を行うことができ、相互にボランティア参画への意識を高め合うプログラムを展開できた。
- ・今回依頼した4人の先輩ボランティアの中には、初めてボランティアに参加するメンバーもいたが、事前にオンラインミーティングをすることで、他のメンバーとのアイスブレイクを行いつつ、よりねらいに迫った支援を依頼することができた。

(4) 課題

- ・募集定員を大きく下回る申し込み状況であった。参加費の高騰は一つの要因ではあるが、大学の講義の一環として申し込みできるような仕組みづくりが必要である。

担当：事業推進係 高橋 諒